

平成29年10月25日現在 「市田柿」の成熟状況

南信州農業改良普及センター、JAみなみ信州

1 成熟の傾向

- 長雨及び台風の影響等で、果実糖度が上昇してこない。
- 雨の影響で条紋の程度がひどくなってきた。肥大良好な園では裂傷となり軟化が進んできている。
- 着色は連日の低温により果頂部は進んできたが、樹冠内部は青い。色上がりは良くない。
- 今後の気象によっては、条紋の発生から果頂軟化が心配される。

2 収穫時期の判断

- この頃の降雨で果実硬度が低下してきており、条紋の発生で果頂部が非常に柔らかくなっている。
- 着色や糖度の上昇を待っていると硬度が低下し加工のロスが出るので、肥大の良い園、風通しの悪い園、台風で落葉した園等から収穫を始める。
- 台風22号も近づいてくることから、前回の台風で被害を受けた園でも収穫をすすめる。

3 収穫開始時期（見込み）

- 熟度調査結果から標高別の果実差が見られなくなったことから、上記の収穫の判断に注意して収穫を進める。
標高に関係なく着色、軟化が見られるほ場や樹から収穫：10月26日前後～
- 収穫は樹冠外部の果実から行うなど、熟度を見ながら数回に分けて行う。

★収穫時の注意事項

- ①日陰部分の果実は、着色が特に遅れているため、区分収穫を徹底する。
- ②条紋・軟化の多い園地の特徴
 - ・摘果により肥大良好な大玉の園地
 - ・窪地や風通し悪い園
 - ・台風21号の被害（葉の痛み等）を受けた風当りの強い園地このような園地から収穫を開始して下さい。
- ③条紋の多い柿を加温追熟すると軟化、発酵の恐れがありますので注意下さい。